外国語教育メディア学会
LET
九州・沖縄支部だより

第57号
2012年5月23日
LET 九州・沖縄支部事務局発行
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1-1
北九州市立大学　長 加奈子研究室内
TEL 093-695-3249
E-mail: secretariat@jlet-ko.org
編集：松﨑　徹・田上優子・事務局

外国語教育メディア学会(LET)九州・沖縄支部長２期目を迎えて



LET 九州・沖縄支部長　島　谷　　浩（熊本大学）

2010年4月に第6代支部長に就任以来、多くの先生方にご協力いただき、なんとか2年間支部を運営いたしてきました。昨年度の第4回支部運営委員会での支部役員選挙において再選されましたことを厳粛に受けとめ、微力ながらもう１期、支部長を務めさせていただくことになりました。副支部長には、石井和仁先生（前 LET 本部事務局長）と大津敦史先生（第5代支部長)、支部選出理事には竹野茂先生（前支部事務局長）が選出され、事務局長には長加奈子先生に留任いただき、非力な私をサポートしていただく盤石な体制を構築していただきました。2012年度支部役員は、昨年度末に支部メーリングリストによりご承認いただき、支部ホームページに掲載されていますが、ご退任された委員の補充には、これからの支部を見据えて30～40代の若手の先生方を、支部運営委員、評議員、各種委員としてお迎えいたしました。このような体制で、これから2年間支部を運営いたしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

支部長としてのこの2年間は、正直あっという間でありました。初年度の2010年には、支部設立40周年記念大会という歴史的イベントを、長崎県佐世保市のハウステンボスで開催しました。前支部長の大津敦史先生、前支部事務局長の竹野茂先生を中心として、関係の先生方のご尽力により、無事開催することができました。この40周年記念大会において、池浦貞彦先生（第3代支部長）と木下正義先生（第4代支部長、第10代 LET 会長）に支部功労賞をお贈りすることができました。同年8月には、本学会設立50周年記念大会が、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校で開催されました。この大会において、池浦貞彦先生が、学会創設50周年記念顕彰を受けられましたが、先生の受賞スピーチには深く感銘を受けるのと同時に、支部の一員として大変誇らしく思いました。この大会に間に合うように刊行された『外国語教育メディア学会50年の歩み― LLA から LET そして未来へ―』には、学会の歴史とこの学会を育ててこられた先輩方の熱い思いが凝縮されています。ぜひとも多くの会員の皆様によくお読みいただき、本学会の意義について改めてご確認いただきたいと思っております。

（50周年記念誌の PDF 版は本部ホームページより閲覧可能です。）

2010年度には、支部紀要執筆規定や支部研究会規定の改定を行い、他支部会員との共同研究を円滑に進めることができるようにいたしました。また、2年に一度であった支部研究プロジェクトの募集を毎年募集にして、プロジェクト研究のチャンスを拡大いたしました。残念ながら、2012年度支部研究プロジェクトに手を挙げるグループはありませんでしたが、支部会員の皆さま、特に中・高の先生方や経常研究費等をお持ちでない先生方には積極的に挑戦していただきたいと思っております。

支部長2年目の2011年には、「こうすればできる！小学校外国語活動」という大会テーマで第41回支部研究大会を筑紫女学園大学で開催いたしました。小学校学習指導要領の改訂により、小学校外国語活動が必修化されたことに合わせた訳ですが、本学会が小学校での外国語活動にどのような貢献ができるのかを考えるよいきっかけとなりました。また、この大会では、2001年より休眠中であった支部主催の講習会を復活させる形で、ワークショップを大会の午前中に組み込みました。大会実行委員長の田口純先生をはじめ、第41回支部研究大会実行委員会の先生方、開催校の筑紫女学園大学の関係の方々のご協力により、本支部は、新たなスタートを切ることができました。

2011年度秋季学術講演会では、2011年度 LET 学会賞教材開発部門賞を受賞された染矢正一先生（大分県立芸術文化短期大学）に、「教材開発の実践と作成手順」という演題で講演をお願いいたしました。染矢先生の長年のご経験に裏打ちされた講演内容は、現場の先生方に大変好評でした。LET 九州・沖縄支部の単独開催での学術講演会は、今回が初めてだったのですが、教育現場に直接関係する形で講演会などを開催する重要性を強く感じました。2010年度には、水野邦太郎先生（福岡県立大学）が、教材開発部門で学会賞を受賞されており、本支部員が2年連続で教材開発賞を受賞したことは、大変意義深いことで、本支部はこのユニークな側面を大事にしていきたいと思っております。

支部長就任時に『支部だより53号』において、“Small changes can make a big difference.” の精神で、小さな変革を進めていきたいと抱負を申し上げました。今年度は、支部研究大会の研究発表申込締切日を4月上旬にしました。従来の年度内の締切ですと、厳密には前年度の会員でなくては発表申込ができない状態でした。実際には柔軟に対応してきた経緯があるのですが、例外的な対応をとるよりも思い切って4月上旬締切とし、新会員の方が発表しやすくいたしました。締切変更のため、「大会発表要綱」の大会前の送付が困難となりましたので、支部大会当日の配布とすることにいたしました。ご不便をおかけする面があるかと思いますがご容赦ください。

今年の第42回支部研究大会は、大会プログラムでご案内いたしておりますように、「ネットワークを用いた英語学習の可能性と課題」という大会テーマで、6月9日（土）に宮崎公立大学において開催されます。竹野茂大会実行委員長を中心として、大会実行委員の先生方には、非常に魅力的で質の高いプログラムを準備していただいており、本当に楽しみな大会となっています。お知り合いの方々にも、お勧めいただければ幸いです。

最後になりますが、LET 九州・沖縄支部での活動が、支部会員の皆様の教育・研究を進める上での有益な交流の場となりますように、お役に立ちたいと思っております。ご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

第42回 LET 九州・沖縄支部研究大会に参加しよう！

大会実行委員長　竹　野　　茂（宮崎公立大学）



LET 九州・沖縄支部研究大会の季節になりました。１年が過ぎ去るのは、なんと早いことか。昨年の3.11東日本大震災から既に１年と２か月が過ぎようとしています。復旧・復興が進んでいる被災地で再起を心して立ち上がっていらっしゃる被災者の方々もいれば、遅々として進まずもどかしい思いを持って過ごしていらっしゃる被災者の方々もいると思います。各地で震災の爪痕を残したままの日本列島で多くの被災者が生活をしていらっしゃる状況の中、我々の生き方が問われています。

自然災害の一方、自然災害が起因とされる原子力発電所の事故も起こりました。当たり前のような電力供給が当たり前ではなかったこと、様々な隠された事実を目の当たりにし、多くの方が戸惑い悩みながら日々の暮らしを営んでいます。その中で学究の徒である我々は、何を研究しどのように社会貢献をすべきかを鋭く問われていると思います。身の引き締まる思いで、我々のあるべき姿を問わなければならないと思っています。

このような状況の中、宮崎の実行委員の先生方の多大なるご尽力を頂きまして、6月９日（土曜日）に宮崎公立大学で第42回 LET 九州・沖縄支部研究大会を**「ネットワークを用いた英語学習の可能性と課題」**というテーマで開催することとなりました。

ここで少し歴史を振り返ってみたいと思います。前回、宮崎の地で第28回支部研究大会を開催いたしましたのは、17年前の1995年のことであります。会場は今回と同じ宮崎公立大学でした。開設２年目という新設大学でした。

当時、当学会は語学ラボラトリー学会（LLA）と称していました。池浦貞彦支部長のもと、宮崎公立大学笹谷孝先生を大会実行委員長として、「オーラル・コミュニケーション能力の育成と評価」というテーマで開催され、同テーマでのシンポジウムも行われました。ワークショップも含め２日間の日程で、15本の研究発表・実践報告を取り揃え盛大に行われたものでした。光栄にもその時助手であった私もMD での音声教材編集についてワークショップをさせていただきました。正確な参加者人数は記憶にとどめておりませんが、懇親会に残られた数は50名ほどだったように記憶しております。その数から判断しますと研究大会自体には100名ほどの参加者はあったものと推測いたします。交通の不便な宮崎での開催で斯くも多くの参加者を得たことは、九州・沖縄支部の先生方の熱心な研究態度の現れと今更ながら敬服いたしております。



あれから17年ぶりに再び宮崎公立大学での研究大会を迎えるにあたり、メディアの観点から17年を振り返ってみたいと思います。思

い返せば17年の歳月は学会を取り巻く環境も変え、学会名称変更も含み、当学会が中心的に取り扱っているメディアの大きな変化をもたらしました。

1995年といえば日本にInternetが普及する萌芽期のような時代でした。大学間をネットワークで結ぶSINETが登場し次第にその利用が爆発的に普及し始めます。その後民間プロバイダが現れ家庭へもネットワークの波が押し寄せました。

語学教育の世界では、LL（Language Laboratory）というアナログの世界からCALL（Computer-Assisted Language Learning）Laboというコンピュータを利用したディジタルの世界へ変革を遂げております。アナログ音源・アナログ画像を扱うアナログ版レコード、カセットテープ、ビデオテープなどアナログ・メディアからCD、LD、MD、DVD、BDというディジタル・ディスク類、ハードディスク、様々なフラッシュ・ディスク・メモリへと形や品を変えております。ディジタル・ディスク類の中には既に過去の遺物となりつつあるものまで出ております。

コンピュータの処理能力の大幅な進歩と同時に、圧倒的な速さで音声や映像を処理できるようになりました。それに加え、ネットワーク回線の状況が大幅に改善され、CALL教室内（Intranet）でのクローズドな世界からInternetというオープンな世界への変革もあります。

様々なアプリケーション・ソフトウェアを押し込めた一つのコンピュータから有線LAN (Local Area Network) でサーバに繋げることによってInternetの世界につなげている時代から、WiFi（無線LANや無線通信網）での接続が主流のワイアレス時代になり、そして今やスマートフォンと呼ばれるコンピュータに携帯電話機能をつけたものやPadやPodと呼ばれる携帯端末でユビキタスにInternetの世界に飛び出す時代になっています。サーバとクライアントPCのありようも変容を遂げようとしています。クライアントPCの中のアプリケーション・ソフトウェアを利用するのではなく、Cloud（ネットワーク化されたサーバの集合体）にアプリケーション・ソフトウェアのほとんどの機能を持ち、あらゆるサービスを端末機器（PC、スマートフォンなど）との接続によりCloud側で処理して、ブラウザや端末側アプリ（インターフェイス・ソフトウェア）を通して端末機器に表示させることやファイル共有や保存が可能なCloud Computingの時代になりつつあります。つまり、機器や機種の垣根、OS（Operating System）の垣根、あらゆる垣根という垣根を越えて、情報が共有される時代になってきました。まさに「いつでも、どこでも、誰でも」のユビキタスな情報社会が誕生しつつあります。

このように取り扱うメディアは日進月歩の進歩を続けていますが、メディアの変化に惑わされず、外国語学習、外国語習得、外国語教育に主眼をおき、メディアの効果的な活用とはどのようなものか、効果的な外国語教育とは何か、効果的な学習法とは何かということを研究していくことこそ、LETの学会としての使命だと考えます。

さて、長々とこれまでの歴史や思い出話、学会の使命など私の考えをつらつらと書き連ねて参りましたが、これからが本題です。この度、第42回LET九州・沖縄支部研究大会は17年ぶりに宮崎での開催になりました。前の第28回大会と場所も同じ宮崎公立大学で開催できますことを大変名誉なことと思っております。前回と異なり、期間も２日から１日へ短縮され講演が行われます関係で発表数も７件と前回よりも少なくなっておりますが、講演、シンポジウム、研究発表・実践報告いずれ劣らぬ選りすぐりの内容となっていると自負しております。

講演はMarcel Van Amelsvoort先生を神奈川県立国際言語文化アカデミアからお呼びいたします。演題は*Crossing Cultures and Aiding Learning: 105 Years of Treasure Hunting*です。講演者

の Amelsvoort 先生は皆様よくご存知のことと思いますが、LET メルマガで The Treasure Hunt Club（というコーナー）を担当されていらっしゃる先生です。長年 Internet から様々な語学学習教材となりそうなものを探し出されてきた経験から、その利用法についてお話しいただけると考えております。ネット環境の整った学校での利用から、ネット環境整備が追いついていない学校に至るまで様々な環境に合わせて見つけてきた教材を如何に利用するのかについて要領よくまとめられるものと期待しております。そういう意味で、小学校・中学校・高等学校・大学どのカテゴリーに属していても役に立つご講演だと考えております。

テーマとなっておりますシンポジウム「ネットワークを用いた英語学習の可能性と課題」では、関東圏・関西圏・宮崎各地からネットワークを積極的に実践で語学学習に利用されている最先端の研究者にお集まりいただいております。これまた、質的には全国研究大会でのシンポジウムに匹敵する大変興味深い内容の議論になるであろうと期待できます。

なお、当日、講演とシンポジウムにつきましては、ワークショップで取り上げます USTREAM という Internet 画像ライブ配信を使って、実験的に中継する予定でおります。ネット環境・通信帯域の混雑具合で、不具合が生じることも予想されますが、実験的中継ということでご容赦いただきますようお願いいたします。

７本の研究発表・実践報告も内容の濃いものになると確信いたしております。こちらのライブ配信はございませんので、ぜひ会場に足を運んでいただき、私たちと一緒に勉強してみませんか。充実した１日になること間違いなしと確信いたしております。

講演・研究発表に先立ち、午前中のワークショップでは、個人がネットワーク上でライブ画像を配信する USTREAM を利用し、情報発信の道具としての効果的な利用法、語学学習での利用法などについて皆様とご一緒に学習して参りたいと存じます。皆様のお時間のご都合が許しますならば、こちらにもご参加いただければと思っております。

一日濃い内容の発表に参加した後は、発表者を交えてこれまた内容の濃い情報交換会を用意しております。学術的なお話から社会的な状況のお話まで様々な情報交換をお楽しみください。お話とともに宮崎の食も堪能していただければと考えております。是非この機会に宮崎公立大学での第42回 LET 九州・沖縄支部研究大会にご参加ください。



新運営委員のごあいさつ

松﨑　　徹（筑紫女学園大学）

LET 学会九州・沖縄支部会員の皆さま、どうもはじめまして。本年４月より新運営委員として本支部会の運営に携わることになりました松崎徹です。勤務先は筑紫女学園大学です。昨年度支部研究大会を本学で開催した際には、実行委員の一人として大会運営に携わる貴重な経験をさせていただきました。学会の運営委員は全く初めての経験であり、至らぬ点も多々あるかと思いますが、精一杯任務を全うしていく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

大薗　修一（九州産業大学）

LET 九州・沖縄支部の皆様、はじめまして。九州産業大学の大薗修一と申します。今年度より運営委員を務めさせていただくことになりました。

不慣れなことが多く、ご迷惑をお掛けすることも多々あるかもしれませんが、LET 九州・沖縄支部の発展のために、私なりに精一杯努力したいと思っています。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

荒木　瑞夫（宮崎県立看護大学）

お世話になります。この度九州・沖縄支部の運営委員を務めさせていただくことになりました。今後ますます、多くの方が行きたい学会、交流できる学会になればよいと思っております。…と、言う事は壮大ですが、今のところ何もできません。未熟者ですが、多くの会員の方のお話を伺いつつ、出来ることを考えていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

仲山　雄二（熊本県立大津高校）

この度、運営委員となりました大津高校の仲山雄二です。大津高校は、サッカーやバスケットが特に盛んです。昨年は、くまモンとあそらくんに見送られ、生徒達とともに台湾への修学旅行に出かけ、現地の高校生と国際交流をしてきました。LET 学会では、いつもワークショップや学会の発表など、いろいろと勉強させていただき、ありがたく思っておりました。高大連携など、何かお役に立てればと思います。どうぞよろしくお願いします。

事務局からのお知らせ

【新会員】2011年11月29日以降

＜正会員＞　ペニントン和雅子（西南学院大学）
福　地　恭　子（沖縄国際大学）
小　坂　征　史（宮崎県立赤江まつばら支援学校）
南　部　みゆき（宮崎大学）
Guest, Mike（宮崎大学）

【第42回支部大会】

第42回支部大会が以下の日程で開催されます。

開催日：2012年6月9日（土）
場　所：宮崎公立大学（宮崎市船塚１丁目１番地２）
大会テーマ：ネットワークを用いた英語学習の可能性と課題

＜ワークショップ＞

『Ustream の効果的な活用法』竹野　茂先生（宮崎公立大学）

＜基調講演＞

講演者：Marcel Van Amelsvoort 先生（神奈川県立国際言語文化アカデミア）
題　目：*Crossing Cultures and Aiding Learning: 105 Years of Treasure Hunting*

＜シンポジウム＞

『ネットワークを用いた英語学習の可能性と課題』

コーディネーター・パネリスト：
荒木瑞夫先生（宮崎県立看護大学）
『インターネットで宮崎と海外とつなぐ―看護大学生の国際ライティング交流―』

パネリスト：
住　政二郎先生（流通科学大学）
『授業内外の外国語学習を統合する試み』
鈴木利彦先生（早稲田大学）
『国際コミュニケーション教育における ICT 活用の実践』
今岡幸美先生（神田外語大学・神田外語学院）
『「仮想世界を利用した実演型英会話授業」の実施―全学規模・必修科目としての導入までの取り組み―』

プログラムの詳細につきましては，登録住所宛に送付されます「支部大会プログラム」または支部ホームページをご覧ください。

【第52回全国大会】

第52回 LET 全国大会が以下の日程で開催されます。

日　時：2012年8月7日(火)から9日(木)
会　場：甲南大学（兵庫県神戸市）

大会テーマ：外国語教育における学習・指導・評価の最前線

詳細につきましては以下のリンクより大会ホームページをご覧ください。

大会ホームページはこちら　http://let-kansai.org/2012/

【会費納入のお願い】

2012年度の会費振り込みのお願いが，登録住所宛に送付されていると思います。まだお振り込みいただいていない会員の方は，お早めにお振り込みいただきますようお願いいたします（個人会員・団体会員は6000円，学生会員は3000円）。未納の状態が続く場合には支部からの発送物を停止させていただく場合がございます。支部の円滑な運営の為にもご協力お願いいたします。なお住所・所属等に変更が生じた場合には，学会本部の HP より変更していただきますようお願い申し上げます。

【LET ホームページ】

＜ LET 本部＞　http://www.j-let.org

＜ LET 九州・沖縄支部＞　http://www.j-let-ko.org/

【LET 九州・沖縄支部事務局】

〒808-0135　北九州市若松区ひびきの１－１

北九州市立大学　長 加奈子研究室内